

■お客様名

ファイテン株式会社

■作成日

2017年3月

■会社概要

ファイテンでは、「すべては健康を支えるために」をモットーに、トップアスリートから一般のお客様にいたるまで、あらゆる方の健康をサポートしてきました。多くの方の実感とご支持に支えられ、ボディケア商品をはじめ、スキンケア商品、ヘアケア商品、食品、健康家電など、取扱い商品は多岐に渡っています。

これからもファイテンは全ての人の「ボディケアカンパニー」として、人々の健康なカラダ、夢見ることをやめないカラダづくりに貢献し続けます。



詳細なポリシー制御による 持ち出しPCのセキュリティ対策と、 未知の脅威への対応により、 成長する企業のエンドポイントを サイバー脅威から守る

「すべては健康を支えるために」をテーマにスポーツ関連商品・健康食品・健康グッズ等の製造・販売等を手掛けるファイテン株式会社では、お客様情報を守るため、各営業所や販売店舗への持ち出しPCの情報セキュリティを強化。流行するランサムウェアなど未知の脅威対策に実績のある、カスペルスキー製品を採用しました。

ファイテンでは、全国での店舗増強や事業拡大のため、従業員が営業所とお客様先を移動する業務が、頻繁に発生しています。その際、社内から社外へPCを持ち出すことが多くなるため、持ち出しPCのセキュリティ対策強化を重要と捉えていました。また、昨今のランサムウェアなどの未知の脅威への対策も合わせて、PCやサーバのセキュリティソフトを見直しました。

見直しの結果、本社や各営業所、各販売店などのクライアントPCやサーバーのセキュリティソフトの入れ替えを決定しました。この決定に至った経緯をファイテン システム部 部長 堀場氏は、次のように語ります。

「もともと当社で利用していたセキュリティソフトでは、持ち出しPC用のポリシー適用ができませんでした。また、ウイルスの検知力に対する不安もありました。IPSやメール暗号化など、基本的な対策は一通り行っていますが、今後の事業展開に向けて、これらの対策をより強化する必要ができました。そのタイミングでカスペルスキー製品をITパートナーからご紹介いただき、検討に至りました」



■事業内容

医薬部外品・医療機器・化粧品・ヘアケア商品の製造・販売、スポーツ関連商品・健康食品・健康グッズ等の製造・販売、不動産事業

■利用環境

PC・サーバー 計 約600台

■課題

- 持ち出しPC用の詳細なポリシー設定
- ランサムウェアの対策
- ウイルス検知力の改善

■導入製品

Kaspersky Endpoint Security for Business | Select



ファイテン株式会社
システム部 部長
堀場 誠司氏



ファイテン株式会社
システム部
牧 文子氏

「既存製品では見つからなかった不審な動作をカスペルスキー製品は検知するなど、その実力を目の当たりにしています」(堀場氏)

「製品の導入後、ランサムウェアや既知のマルウェアだけでなく、新種も検知しています。被害が出ていないという点が一番の効果です」(牧氏)

持ち出しPCのセキュリティ対策。

社内と社外の異なる環境で、ポリシーの適用を自動化し、運用を容易に

ファイテンのLANに接続するPCは、社内のWebフィルターや次世代ファイアウォールを経由してインターネットへ通信しています。しかし、社外で通信するPCは、これらのセキュリティを経由しないため、脅威にさらされる危険性がありました。そのため、持ち出しPCのセキュリティ強化にあたり、Webフィルターの設定を重視。社内LANでは社内のセキュリティを利用し、社外ではWebフィルターを有効にするといった、セキュリティポリシーの運用を必要としました。

また、ファイテンでは、過去に複数回のランサムウェアの攻撃を目撃していました。その際、「やはりデータを守る最後の砦であるエンドポイントのセキュリティ対策を、より重要視しなければいけないと感じました」と堀場氏は振り返ります。

こうして、社外へ持ち出しするPCのセキュリティ強化と、ポリシー適用の自動化、さらに、未知の脅威への対策を実現するセキュリティソフトとして、カスペルスキー製品の検討を行いました。

その結果、ファイテンは法人向けセキュリティ統合プラットフォーム「Kaspersky Endpoint Security for Business」の導入を決定しました。

「Kaspersky Endpoint Security for Business」は、社外に持ち出すPCのセキュリティポリシーを詳細に設定し、社内と社外のポリシー切り替えを自動で行う環境を実現します。また、ランサムウェアの攻撃を未然に防ぐ高度なセキュリティ機能(システムウォッチャー、アンチクリプター他)を有し、WindowsPC/Mac/モバイルなどマルチデバイスをサイバー脅威から保護します。

「ランサムウェアのような最新の脅威においては、PC単体ではなく、ネットワークの共有ドライブまで攻撃を受けると聞きます。そうすると業務が停止してしまい、ビジネスに大きな損害を与えかねません」ファイテンではランサムウェアによる被害を意識し、データのバックアップを日次で保持しています。復旧にはデータのリストアやPCの再セットアップなどの作業が必要となり、1件につき担当者が1日から2日ほどの対応に從事する必要がありますと想定しています。そのため、リスクを減らす環境への移行は必須であったと言えます。

従来製品では検知できなかった攻撃を多数発見しブロック

ITパートナーからも、セキュリティ対策に非常に厳しい目を持ったお客様と認知されているファイテン。製品の評価にはしっかりと時間を掛けています。

「カスペルスキー製品はコンシューマー製品を試していたこともあり、検知力の高さはすでに認識していました。事前評価においても既存製品からの入れ替えに大きな問題はなく、本番導入作業もスケジュール通りに進んでいます。また、既存製品とカスペルスキー製品の並行運用の期間が発生していますが、その際にも既存製品では見つからなかった不審な動作をカスペルスキー製品では検知するなど、その実力を目の当たりにしています」と堀場氏は言います。また、導入後の効果について、同システム部 牧氏は「製品の導入後、ランサムウェアや既知のマルウェアだけでなく、新種も検知しています。感染を防ぐという点においてカスペルスキー製品の實力が見えていて感じます。被害が出ていないという点が一番の効果です」とその効果を実感しています。

セキュリティに対する意識の改善。ユーザーの利便性を意識した

情報セキュリティの方針と、東京オリンピックに向けた検討

「社内には業務端末だけではなく、研究・開発や分析を行うサーバーもあります。6、7年前にはネットワークに負荷をかけるウイルスに感染し、大きな影響をうけました」その時、徹夜で復旧作業を行った経験から、システム部ではウイルス対策への意識が非常に高まったと言います。

システム部では、PCや社内システムを利用する従業員へのセキュリティ意識の向上も必要と考え、従業員への教育を強化することも検討しています。しかし、大前提として個々のセキュリティに対する意識に左右されない環境を実現することを目指し、定期的なシステムの見直しを図っています。

「従業員には社内IT環境を、自由に使ってもらいたいと考えています。利便性を損なわずにセキュリティ対策を行うことが理想です。」

「東京オリンピックに向けて企業の注目度も高めていく予定です。特に2016年から市場での高度な攻撃のニュースが目立つため、既存の多層防御の環境にも引き続き見直しを検討しています」今後は、出口対策や万が一の被害に備え、その原因が追跡できるような仕組みも必要ではないかと、ファイテンでは考えられています。



株式会社カスペルスキー

〒101-0021
東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産
秋葉原ビル7F
<http://www.kaspersky.co.jp>
jp-sales@kaspersky.com

©2017 Kaspersky Lab. All rights reserved.

KasperskyおよびカスペルスキーはKaspersky Labの商標登録です。その他記載された会社名または製品名などは、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。記載内容は2017年3月現在のものです。記載された内容は、改良の為に予告なく変更されることがあります。

B-PHI-CS-201705-01